

令和7年度第2回県立都市公園利活用等推進有識者会議 会議録

1 日時

令和8年2月9日（木）13時30分から16時20分まで

2 場所

トーサイクラシックホール岩手 4階 第2会議室

3 出席構成員（敬称略）

内田尚宏、吉田基、杉村一郎、佐々木史恵
（欠席構成員：工藤健人、五味壮平）

4 議事

- (1) 令和7年度県立都市公園の管理運営状況について
 - ア 県立御所湖広域公園
 - イ 県立花巻広域公園
 - ウ 県立高田松原津波復興祈念公園
 - エ 内丸緑地
- (2) その他

.....

議事(1) 令和7年度県立都市公園の管理運営状況について

ア 県立御所湖広域公園

- 冒頭、指定管理者であるK O I W A I ・ Fが資料により説明した。

座長

ただ今の説明に対しまして、御質問、御意見等ございましたら、お願いします。

A氏

分かりやすい説明で、参考になります。ありがとうございます。少し入場者数が減っているということで、残念ですが、天候のせいもあったということで、この部分は仕方ないかと思えます。私が気になっているのはクマです。クマの具体的な状況、同じ個体は何回も執着して来ているのかどうか、そのようなデータ等は取れているのでしょうか。

御所湖広域公園

公園内に定点カメラ等を設置して害獣の進入路等を特定しようとしていますが、イノシシ、クマともに撮影には至っておりません。令和6年度にイノシシなどの動向が撮影されたこともありましたが、令和7年度は、クマの目撃情報が例年に比べて数倍に増えております。職員が常駐しているのが、三大園地と言われる乗り物広場、町場地区園地とファミリーランドなのですが、町場地区園地については、周囲が柵で覆われておりまして、その柵の下からの侵入を防ぐ対策を令和6年に行っており、イノシシの進入は全く無くなりました。クマは、入場口の外の道路を横切る姿が目撃されていますが、園内で目撃されることはなくなりまし

た。少なくとも、従業員がいる三大園地ではお客様の被害がないように対策を進めていこうということで、なるべく柵で覆って、その下を潜り抜けられないような対策を順次講じようと思っているところでございます。

A氏

お客様だけでなくスタッフの皆様の、何かあった時の体制等を含めて、ぜひ安全対策について十分注意していただければ良いと思います。

座長

他に質問、御意見等ございませんか。

御所湖広域公園

補足ですが、7年ほど前に県の環境保健研究センターで、クマの個体にGPS発信機をつけて常時観察していた時期があり、御所湖沿いの水辺を中心にクマが歩いている様子がみられました。今もおそらく、ある程度御所湖周辺を縄張りとしているクマが歩いているものと思います。

それと、県の方で、令和6年度、7年度と毎年度、一定量の下刈りを実施し、出会い頭でのクマやイノシシ等との接触がないように対策を講じてもらっています。一回で全てできるものではないので、年度毎に少しずつ進めさせていただいているところです。

座長

私も周辺をよく見ますが、いますよね。今騒がれている以前からずっといますよ。クマ柵も周辺にあって、その真下を皆が歩いているのだとわかります。近年問題なのは、そのクマが人に対して何らかの危害を加えているといった、人を恐れなくなったことであって、クマがいなくなることは難しい問題なので、何か寄り付かないようにする対策をとらなくてははいけません。その点、町場地区園地は、完全にクマ等が入らないようにしていて、とても有効だと思っております。自然の中で子供を開放的に遊ばせることができるように、良い対策をとっているなどと思って見ておりました。ただ、川の方は対策が難しいのでしょうか。

御所湖広域公園

三大園地にはフェンスがあります。今スライドに出ているのは乗り物広場なのですが、スライド中、青いラインがフェンスのある部分です。緑のラインの場所にはフェンスはありませんが、県道沿いの法面のような場所であるため、そちらからはクマ等が入ってくることはできないと思います。赤いラインの場所にもフェンスはなく法面となっているところなのですが、林になっておりまして、ここは隠れながら進入できるのではないかというような場所です。

赤いラインにフェンスを設置すれば、乗り物広場では害獣は完全にシャットアウトできるのかなと思っております。赤いラインの距離は200～300mほどあるのですが、そのうち青いラインの端から20～30mのところでは仮設柵の設置を進めているところです。指定管理者も経費が少ないので、数十メートルしか進まないのですが、それで侵入防止の効果を見て、来年に繋げようかと思っております。

座長

集客につながる訳ではないところの経費ですね。ネットであるとか、安全のための経費、クマもさることながら、イノシシですよ。掘って潜って入ってくる習性がありますから。

そちらの対策も進めているようでしたので、引き続き対策をよろしく願いいたします。

B氏

同じくクマ対策について、盛岡つなぎ温泉周辺でも、今年は12月末までクマを見ました。雪が降っても子グマが出ておりますが、宿泊のお客様に対して、「クマがいるからあまり出歩かないください。」とか、「注意してください。」というのは非常に言いづらい部分です。ただ、全く言わないというのも、不親切といえますか、万が一何かあった時に困るということで、やんわりと説明はしています。よくニュースで取り上げられている時には、「今度泊まりに行くのですが、クマはいますか。大丈夫ですか。」という問い合わせをいただくことがあり、大丈夫だと言っているものなのか悩ましいところがありました。

ホテルや旅館では、ちょっとした気休めにしかなくなっていますが、お散歩に出る方にフロントで熊鈴をお渡しして、「大丈夫ですけど一応注意するために持って行ってください。」と御案内したり、あとは、張り紙をして対応しています。

公園では所々に看板を立てていると思いますけれども、特に、いらしたお客様に対して、何かそういった準備等をしていますか。

御所湖広域公園

従業員で毎日公園を巡回しておりますが、令和6年には出会い頭にクマと遭ったということがありました。その時の職員は、熊鈴をつけておりました。

クマスプレーは公園にあります、1本しかないのですが、県に、いただけないか相談しています。県では、県の施設にクマスプレーを配布する事業を実施しているようですので、そちらに申し込むなど、色々対策について考えていただいています。

また、お客さんには、クマの目撃情報があった時には放送などで知らせるようにしております。

あとは、クマの目撃情報があった後の数時間については、朝に爆竹を鳴らすなどして、開園前のクマの追い払いを行っております。ただ、広域公園なので、乗り物広場で爆竹を鳴らせばファミリーランドにクマが逃げたりするというようなことはあります。

B氏

もう1つ、これは毎年申し上げていますが、冬季間の手つなぎ広場のトイレの閉鎖につきましては、引き続き、実現するかどうかということは置いておいて、やはり、お客様から「こういう所に来てトイレがないのはすごく不便よね。」という御意見は、毎日のようにいただいています。観光協会の事務所が開いている時には、そのトイレを案内していますが、定休日もありいつでも使用できるということではないので、ぜひその辺は、県にもお願いをしたいです。予算等々色々な問題もありますが、12月から3月までの閉鎖期間を1か月、2か月でも縮める等の施策をとっていただければありがたいなと思っております。

座長

他に質問、御意見等ございませんか。

トイレの閉鎖に関しては、やはり冬場ということが問題ですよね。水道の管理や経費の問題がありますよね。

御所湖広域公園

トイレを温めて凍らないようにするための費用と、あとは電気、水道は大した費用ではありませんが、冬季間は公園が閉園になるということで、簡単な巡回はしますが、トイレを開

けるとなると巡回のやり方が変わりますし、毎日又は数日に1回は清掃に入らなければならなくなり清掃をする人が必要になりますので、プラスアルファで必要になる費用について県と相談していますが、なかなか実現が難しいところです。観光協会からは、「除雪の協力はできます。」という話もいただいておりますので、そのあたりはジレンマでございました。

座長

よくわかります。これはもう契約上の問題もありますね。管理運営という範囲の問題でもあるのかと思います。

ただ、どうしても「トイレが使えないと不便だ。」という声が多いようであれば、「トイレを使えるようにすることで、観光で訪れる方々が増えるか。」という点から検討してもらえばというようなところでございます。

C氏

9月27日に公園に子供と遊びに行ったのですが、インラインスケートやふわふわドームで遊んだ後に、子供が「喉が渴いた。」「アイスを食べたい。」と言いだしたのですが、周辺に店があるかわからなかったもので、結局、イオンまで車で買いに行きました。アイスや飲み物が買える場所がわかれば、ありがたかったです。

座長

確かに、周辺にあったコンビニエンスストアがなくなりましたよね。

御所湖広域公園

コンビニは、ファミリーランドの隣と、つなぎ温泉の方にあります。以前は、手づくり村から県道に出たところにもありましたが、現在はなくなりました。

アイスクリームの自動販売機は、乗り物広場にはありますが、その他の場所には設置しておりません。

コンビニの位置等の情報もマップに掲載していけば、インバウンドで訪れる方も含めて、利用者の方にはより親切なのかなと思いますので、そのように改善していきたいと思います。

座長

アイスクリームとなるとお店等になるのですが、喉が乾いたときには園内で水が飲めますし、自動販売機もありますね。

ただ、受付には職員がいるので、こういったものをどこで買えば良いか聞けば案内していただけますよね。

御所湖広域公園

三大園地には職員が常駐しておりますので、問い合わせただければ、どこで買い物ができるとか、何が買えるかという案内はさせていただけると思っております。

関連してですが、除園地に、盛岡市のつなぎ多目的運動場がありますけれども、そこは水道が通ってないので飲み水はなく、自動販売機に頼ることになっておりまして、そこは、昔からの課題でございます。

座長

他に何かございませんでしょうか。

町場地区園地に木工細工の場所を設置して、そこで子供たちが木のおもちゃを重ねて遊ん

だり、それで遊びに来る人が増えて、というのは、小岩井さんらしい取組だなと思って見ていました。そういう、利活用に繋がるアイデアをもっと広めていくといいのではないかと。

あとは、屋外が難しいという話がございますけれども。要は、夏場は暑くて、利用者は皆陽の当たっているところで大変そうなのですが、今回、テントの設置は見合わせるというようなお話でしたよね。

御所湖広域公園

見合わせるというような表現というよりも、まず、センターハウスの利用率が高くないので、屋内の環境を改善して、短期的には、利用率増加を目指したい、涼むお客さんを取り込めるようにしていきたいということです。前回の有識者会議でいただいた御意見への回答になっているかわかりませんが、基本的には、町場地区園地は、岩手山の景観をあまり阻害したくない場所でもありますし、小規模ではありますけど四阿とテントはありますので、今回は、お金をかける前にまず努力をしてみたいという話をさせていただきました。

座長

本音のところでは言いますと、あそこには建物が建っていますし、四阿もあるし、テントを設置することで景観が損なわれるとは思えません。工夫して建てれば良いし、場所を選べば良いことであり、それよりは、熱中症対策を考えていただきたいということと、室内に入るよりも、子供は外で遊びたいし、遊んで疲れたらテントがあるところで休んでおにぎりを食べたいので、外にそういう設備があると良いのではないかとということをお話したのです。

御所湖広域公園

私も本音のところでは言いますと、テントのような人工物ではなくて、本当であれば、大きな木とか、そういった緑陰でお客様を満足させたいのですが、町場地区園地は地下水位が高く、木が大きく成長しないという悪条件にあります。

だからといって、指定管理者としては、あまり人工物を増やしたくないという考えがありまして、そのあたりのジレンマがあります。

座長

わかりました。方針として、そういった人工物を作らずに、できれば植物等で日陰を作りたいということですね。これは、とても良い考えだと思います。

あとは、広い公園で色々な動植物の管理が大変な中で、樹木の専門家としての知識や技術を生かして管理をされているなどと思って見ておりました。ただ、町場地区園地で樹木の名前について「これ、なあに。」と聞いている子供が多い。花壇に植えられた花には名札があるのですが、前に植えたものとか、そういったものには名札がついていないので、せっかくですから、名札があるといいなと思いました。

御所湖広域公園

先ほど、さくら園と尾入野湿生植物園の動植物名札を更新したということをお説明申し上げましたが、次は町場地区園地の動植物名札の更新作業に入りたいと考えておりますので、御期待ください。

座長

わかりました。

イ 県立花巻広域公園

○ 冒頭、指定管理者である公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団が資料により説明した。

座長

ただ今の説明に対し、御質問、御意見はございますか。

C氏

ドッグフェスティバルが中止されたという話がありました。隣接するキャンプ場を警察犬の訓練で貸し出すことがあります、それをやるとクマの目撃情報が減ります。そういう用途で使用してもらうというのはいかがでしょうか。

花巻広域公園

ドッグフェスティバルは、専門学校の方々の協力をいただきまして、犬を飼っている方々を迎え入れて、写真撮影とか、あとは犬のしつけをやるイベントでございます。その専門学校の方と協議をしまして、来園する方々、それから生徒の皆さんの安全の確保、そういった面から、前日にクマが出たということで、協議が整い、やむを得ず今回は中止になりました。

警察犬の訓練等の目的で場所をお貸しできて、また警察犬の学校との協議がうまくいけば、我々の方でもそういった形でお貸しすることに問題はないと思います。今のお話を聞いて、相手方と色々と相談し、検討する価値があると考えております。

C氏

一緒にやりましょう。

座長

とてもいいですね。

その話は他の公園にも関係しそうなので、詳しく教えていただけますか。警察犬の訓練を公園の中でするということですか。それとも訓練された犬を使うのですか。

C氏

詳しいことはわからないのですが、北東北3県の警察犬を山に放して、匂いを頼りに人を見つけに行くという訓練を山の奥で行っているようです。訓練をするとクマの目撃情報が減るといっているので、年に2～3回訓練場所として貸し出しています。

座長

警察犬をそのフィールドに放すとクマの目撃情報が減るということですね。警察犬については、警察と何か話をするのでしょうか。

C氏

警察ではなく、おそらく警察犬を育てるトレーナーの方です。警察犬の大会に出る前の練習をしているようです。

座長

あれは個人でやっていますよね。近所にもあったような気がします。

C氏

目標のようなものがあって、それを探しに行き、目標を見つけるとワンワンと吠える。それが繰り返し行われるので、多分クマの方が驚いて周辺からいなくなるのかなと思います。

座長

クマの目撃情報が訓練後だけ減るのではなくて、その後1～2週間は減るのであれば、イベントを控えていた期間がある場所では有効ではないかというようなことですね。そういうことで参考になるかもしれません。

花巻広域公園

来園者がいる中で、そういう訓練ができるのですか。例えば、いわゆる来園者を閉ざした形で、警察犬のトレーナーの方や目標となる方がどこかに隠れて行わなければいけないものなのでしょうか。

C氏

キャンプ場では、利用者がいる時に行っています。

座長

今度、それを公園で人のいない時間か何かでできればいいかもしれないですね。そういったアイデアがあるということで参考にしてもらえればと思います。

他に何かございますか。

A氏

クマよりイノシシの被害が非常に大きく、こんなに荒らすものなのかと非常に驚いています。営業にも大きく影響してくると思うので、何とかしたいところだと思いますが、こういった状況に関して、学識経験者に相談していたりするのでしょうか。

花巻広域公園

岩手大学の先生に相談してみようかなと思ったのですが、まずは個体数が、資料の写真には2頭しか映っていないのですが、子連れの5頭くらいで、いつも来るのが同じ個体、家族連れなのかなというように思えたので、これらをなんとか一回獲ってしまえば、少しは被害が落ち着くのかなと考えまして、市を通じて猟友会の方とお話をさせていただいたところ、猟友会が県や市からの委託で行っている捕獲で捕まえることが可能ということでした。花巻は今、雪が深く、イノシシが入ってこられない状態なので、雪解け頃に捕獲できればいいかなということで、猟友会の方と捕獲するというような形で取り組んでいるところでございます。

なお、それでも被害が継続するようであれば、学識経験者の方々にも相談をしながら、どういう対策がより効果的なのかというところを検討してまいりたいと考えております。

A氏

そうですね。イノシシはどんどん増えますから。捕獲できることを祈りながら見守りたい

と思います。

座長

そうですね。このような対策の費用等と重なり、さらにゴルフ場が使えなくなり利用者が減りますので、これは大変ですね。

違う公園では、ネットを張ってイノシシ対策をして一応効果は出しているようです。広さの問題はあると思いますが、そういったことを試してみたりはしているのでしょうか。

花巻広域公園

公園はかなりの広さがあるものですから、ネットのある部分とない部分がありますし、ネットがあるところでもそれを突き破ってイノシシが潜り込んできているような場所もありますので、そういった箇所の修繕であるとか、電気柵の設置も含めて、今、県に対策を講じてもらえないかということで要望をしているところでございます。

座長

イノシシの厄介なところは、潜る習性ですよね。電気柵を設置しても、結局はその下を削って潜って入ってくるので、これは大学の先生とも相談して、ぜひ対策を検討していただきたいと思います。対策に費用がかかるとなれば、これは指定管理者だけでは解決できないことなので、県も一緒に検討してもらえればと思いますね。

他に何かございますか。

B氏

利用状況のところですが、利用者数が減っている一方で、利用料を上げたので利用料収入の方が増えているのですが、利用料金は何割くらい上げたのでしょうか。

花巻広域公園

パーセントというよりは具体的な数字で申し上げますと、テニスコートを改修した関係で、今まで1時間当たり1面540円いただいていたものを700円に上げたのが大きな部分です。

あとは、ピクニックマルシェというイベントで、園内行為と申しまして、公園で販売等を行った場合の料金ですが、これは1人当たりという格好でいただいております、これが10円だけ、420円から430円に上げた部分でございます。

やはり一番は、テニスコートの利用料が540円から700円という格好に上がった部分が大きく、その影響が大きく出ているかなというように思います。

B氏

ありがとうございます。

座長

資料20ページ3のアンケート結果は、非常にいいですね。満足、まあ満足で87%ですか。非常に満足していただいているということが分かって、色々な取組をされていることなど。

そこであえて聞きますが、不満と答えた2%の方からは、どんな声があったのでしょうか。

花巻広域公園

選択肢が、満足、まあ満足、普通、という形で選択肢になっていて、不満を選んだ人が2%

しかいなかったということで、その人がどういう思いで不満というところに丸をつけたかというのは、今手元にアンケート結果そのものがないのでお答えできないのですが、例えば自由記載で書かれているものの中には、「お客様より先にスタッフに挨拶してもらいたい。」というようなことが書かれていることがありました。その人がその思いで不満と書いたのかはわからないのですが。

あとは、以前はテニスコートや運動広場の方にも管理事務所がありました。職員の定数の関係で今は職員が常駐していないので、テニスコートや運動広場を利用する方々は、ゴルフ場の方の管理事務所に一度来ていただいて、そこで受付をして、料金を支払って、テニスコートや運動広場の方に行って、プレーをしていただくということになります。結構距離がありますから、テニスコートや運動広場の方の管理事務所にも職員を常駐させてほしい、以前のような形に戻してほしいというような声がありました。

ただ、もう現状の職員配置ではそこに常駐させるだけの余力がないので、その要望というのは、御不満ではあるでしょうが、御了解いただくしかないかなというように受け止めているところでございます。

座長

そういう状況に合わせたことでの、お客様が求めるものに応えられない部分というのは当然出てくると思いますので、それはそれでいいと思います。

あえて聞いたのは、以前、アンケートで不満とされたものに改善できることがあって、改善することで来場者が増えていったという流れがありましたので、この不満2%、やや不満と合わせて4%の声を反映する必要があるかというのはあると思うのですが、どのような声があるかなと思い、お聞きしました。当然、クマやイノシシの被害でコースが使えない、これはもう大きな不満になると思いますし、そういったこともあるのだろうなと思ってお聞きしました。

何か他にありませんか。Aさんの方から何か経費のところ、管理事業としてもかかる中で、どうしていくのがいいというようなものはありませんか。

A氏

これは最後に言おうと思っていたのですが、やはりどの公園も今本当に獣害対策にそれぞれ取り組んでいますが、かなりの部分が共通すると思うので、その部分について県を含めて研究していくといえますか、ただ「目撃しました。」で終わらない、どういうふうに出たのかについて研究して、データを集めた上で、それを皆で共有して対策していくということができれば良いなと考えていました。

座長

それは本当に全体で考えていかなければいけないことだなと私も思っていました。

他になれば以上でよろしいですか。

それでは、岩手県スポーツ振興事業団の皆様、どうもありがとうございました。本日の議論を参考に、来年度も引き続き花巻公園のより良い管理に取り組まれますようよろしくお願いいたします。

.....

ウ 県立高田松原津波復興祈念公園

○ 冒頭、指定管理者である株式会社長谷川建設が資料により説明した。

座長

ただ今の説明に対し、御質問、御意見はございますか。

A氏

質問の前に、資料 10 ページに、ボランティアによる除草作業状況とあり、その中に、岩手県職員有志の皆様（9月）とあります。素晴らしいなとちょっと感動しています。紆余曲折があつて管理指定者が決まった中で、県の皆さんが協力してやっていくということで実際にこういう汗をかいて、県職員の協力のもとでこの除草問題に取り組んでいるという姿がとても素晴らしいなと思ひまして、継続していただきたいというところです。こういったボランティアの力を借りながらやっていくというのは本当に素晴らしいことだと思います。

それからもう 1 点、他にも色々資料をいただいているので、その説明の補足をしていただきたいなと思ひます。収支の部分はどのような状況でしたか。収支、経費の部分ですね。資料 2 になりますかね。この辺で特筆する点、説明すべき点等ありましたらお願いします。

高田松原津波復興祈念公園

収支に関してですが、前払いで指定管理料をいただいでいて運営してしまひて、あとは会議室の使用料と、あとは園内の行為許可の使用料、例えば写真の撮影とか、そちらの費用で収入を得ています。

ただ、会議室の利用の部分で、ここに会議室がある、貸し会議室があるということ自体があまり知られていない状況なので、来年度は宣伝できたら良いかなと思ひております。

A氏

それに加えて、支出の方も色々工夫なさつて抑えているということでしょうか。

高田松原津波復興祈念公園

レンタル会社から色々物を借りたりしているのですが、まず作業が大方終わったということもありまして、一旦それは早めに返して費用を抑えるようにはしてあります。

また、私たちは建設会社ですので、レンタルでの機械の利用はありますけれども、社有車を利用していますので、通常のレンタル会社であれば 1 万、2 万かかる部分を 0 にして、需用費の部分は燃料代ぐらいで計上ができます。ですので、そういった部分で、頑張っている現状です。

A氏

なるほど。ではやっぱり続けたいというところはありますね。

こうやって色々民間の力を使ってやってらっしゃるので、今後ともこの取組を続けていって、投資部分が回収できたらいいなと思ひました。

引き続き頑張ってください。

座長

A さんもおっしゃるように、非常に色々な努力をして地域と繋がつて、特に地域の人たちと草刈り、一番大変な作業の草刈りをするとか、そういった地域との結びつきを利用して、これはもう本当に長谷川建設さん、地元の方たちだからできる広がりなのかなと思ひていて、良い動きをしていただいでいるなと思ひて聞きました。

もう少し説明してほしいなと思ったのは、ビオトープですね。これも大変な作業をしているなど。これを続けていくには、これもまた人力やら経費もかかるだろうなど。具体的には、水ですね。水の管理が大変だと思いますが、この場所でなぜビオトープを作ろうとしているのでしょうか。あの広いエリアで湿地もあったと思うのですが、どうして水が切れるような場所を選んだのでしょうか。湿地に作ったのですよね。

高田松原津波復興祈念公園

この場所にビオトープが作られた経緯はわかりませんが、一応、前の指定管理者からここにビオトープがあるという話はされておりまして、昨年度はこのビオトープにミズアオイという植物の花が咲いて、イベントとして観賞会を行ったという話を聞いておりました。それで、前年のように今年も鑑賞会を開催しなくてはと思ひまして、葉が生えてきている状態まで確認をしていました。ただ、夏場に全然雨が降らなかったもので、7月の初めに一回散水車を導入し水の補給を試みたのですが、水が溜まらずにすぐに干上がってしまうような状態でした。その後も、ミズアオイの葉が生えているところだけでも水を補給しようと丸1日かけて満水にしたのですが、結局水が溜まっている状況は3日が限度でした。

さすがに毎日のように散水車で水を撒く作業を行うことはできませんでした。

座長

そうでしょうね。あそこは埋め立ての場所でもあり、昔からの沼地なんかの場所でもありました。ですので、場所によって水をすぐ吸い込んでしまう場所もあるだろうし、ちょっとした水でも湿っている状態を保つような場所もあるだろうなと思ったので、ビオトープに適したところなのかと思ってお聞きしました。

植物に詳しい方にも協力いただいていたようにも思うのですが、ビオトープの場所の設定が初めからあったわけではないですよ。これの経緯がわかる方はいらっしゃいますか。

事務局

ミズアオイの経緯ですが、実は今ここにいるメンバーは、なぜここになったかというところまで詳細にわからないのが正直な状況です。

ただ、東日本大震災津波で被災した沿岸被災地で、潮を浴びたことにより、従前咲いていたものが咲かなくなり、咲かないことによって、逆に、土の中で休眠していたものが生えてくるというのは実は各地で起きていた状況で、その中でこの下宿の付近ではミズアオイが確認されたという経緯があって、その取組、その種を大切にしましょうという取組の中で、今の経緯があるのだらうなというところは推測しているところでございます。

座長

ミズアオイは希少な絶滅危惧種で、震災後戻ってきたということで、大切にしようという、そういうものだったというふうになるのですが。この復興祈念公園、そこにあるということも、それは素晴らしいなとも思いますが、先ほど言いましたように、土を盛るなどして新しく作った公園ですよ。そこに、松原もそうですけど、合わないものを植えて育つには、やはり手をかけなければいけない。それには人件費もお金もかかる、手間もかかるということは当然のことですので、まずミズアオイがそこでいいのか、ビオトープがそこでいいのかということもう一度検討してもいいのかなと思います。本来湿地で、沼地だったところもありますから、十分良い場所があると思います。以前にも少しお話したような気もしますが、管理するために草刈りにお金かけるのであれば、いっそのこと、そこをビオトープにして本来の植生を再現していく場所にした方が手間やお金もかからなくて良いのではないのでしょうか。

か。ビオトープというのは、あくまでも本来の植生を作っていくような場所ですから、それを管理するためにこうやって苦労しているというのはちょっと違うかなと私は思いますので、そういった検討もしてもいいのかなと思いました。

あとは、盗水ですか。とんでもないですね。盗水して何に使っているのでしょうか。

高田松原津波復興祈念公園

わかりません。

多目的トイレに関しては、オストメイトのところはホースのように蛇口が伸びることから、それを使って洗髪をする。手洗い石鹸で頭を洗って、オストメイトのシャワーみたいなもので頭を流して、トイレのトイレットペーパーで頭を拭いて、それをトイレに捨てて出ていく、という人がいるようです。

座長

水の使用量が多いのは、洗車して行くとか、そういう使い方をしているのかなと思ったのですが。

あと、トイレの水についてですが、普通流れる量というのは、大体決まっていますよね。それ以上に何度も流すとかでしょうか。

高田松原津波復興祈念公園

毎日水道メーターをチェックしてはまして、それで利用量が多い日がいつなのかということとは分かるのですが。

ただ、カメラ等がついているわけではないので、どのように使われているかまでは分かりません。

座長

なるほど。そういった不正利用といいますか、利用者もいるということですね。

そして、会議室の存在があまり知られていないということで、またこの活動の中で前年まで行っていた活動を続けようとしてきているということでした。これはとても素晴らしいなと思いました。

その中で、会議室の利用として、地域のミーティングであるとか、何かそんなこともあったように思うのですが、そういったことも続けてなさっているのでしょうか。

高田松原津波復興祈念公園

今まで市の関係者の利用がありましたし、あと協働グループとして登録されているグループの使用もありましたので、まずそちらに案内をしながら利用していただきたいなと思っていました。

座長

ただ、あそこに来て会議をしようというのはなかなか難しいですよ。何らかのイベントをあそこでする、それに当たっての打ち合わせとか、ミーティングを合わせていくとかですね。イベント等も行っているのですが、そういったところは本来の業務と違うので、すぐには難しいのだろうと思いますけど。

ただ、やはり素晴らしい地元ならではの繋がりや管理をしているなと思ってお聞きしました。

何か御質問といいますか、説明の中でここもっと詳しく聞きたいなとか、そういったこと

でもよろしいですし、どうでしょう。

A氏

先ほどのミズアオイの件ですが、ミズアオイの保護に関わった経験から申しますと、大変です。ミズアオイの開花を目標として設定しようと思うと、本当に水管理を丁寧にやらないといけないので、これを毎年咲かせようと思うと相当な水管理のコストがかかります。ここに書いてあるとおり、水田のように水路を引くという方法以外ないのではないかなと思います。散水車で水を補給したら莫大な経費がかかるので。

先ほど事務局の方からも説明があったように、毎年種としてずっと何年も土の中であって、何かのきっかけで条件が合うと咲いてくるというようなものですので、きっと今年咲かなくてもずっと土の中にあるだろうと思います。そういうことで、種として、遺伝子としては守られているものだと思います。それを毎年咲かせることを目標に置くのはちょっと厳しいかなと思いますので、水路ができるまでは、ちょっとそれは目標に置かない方がいいかなというふうに思いました。

座長

そういったものですから、ビオトープとして、そこをエリアとするのはいいと思いますけれども、ミズアオイが咲かないから困ったなというふうに思うことはないと思います。ビオトープとしていけば、トンボが来たり、色々な生き物が来て、またそこに新たな、そこに合う植生が作られていくということを考えて管理していけば良いのではないかなと思います。

良くやっていたているなと思いますし、やはり最後の方にこうしていけたらいいな、こうなるといいなというような、色々な思いが綴られておりますね。その中に「間違っていないか。」とありますが、間違っているようには思いません。とても頑張っていて努力しているなと思えました。

ただ、やはり草刈りの回数であるとか、これはもう契約の中で決まっている中でどうしていくかというところにアイデアを出して、地元との繋がりでやっていくとか、こういったことを続けてもらえればと思います。

会議室を使って、例えば防災の面から地域の皆さんに知ってもらいたい講習会とか、地域づくりのワークショップとか、何か以前やっていましたでしょうか。

高田松原津波復興祈念公園

本日から3月29日までは、協働グループの一員である語り部の方の協力を得て、会議室の半分を使って防災写真展を開催しています。

あとは、2月11日と3月8日に、その語り部の方の防災講演会を行う予定になっています。

座長

参加費はいくらくらいでしょうか。

高田松原津波復興祈念公園

参加費は500円いただきたいという意向がございました。

座長

そういう講習会とかですね、今後も行っていくのが良いかなと思えました。

A氏

会議室で地元よりも県内、県外の利用者の方の予約が多いということですが、どんな方々なのですか。

高田松原津波復興祈念公園

県外ですと、高速道路の会社の方々が研修会で利用したいということでありましたし、あとは県内ですと貸し衣装の業者で、結婚式の花嫁のロケーション撮りをする際の控え室としてこちらを利用させていただきたいという話がありました。

A氏

すごいですね。それは営業した結果ではなくて、相手から来たのですか。

高田松原津波復興祈念公園

ホームページを見て、会議室があるということを知ったようで、電話が来ました。

座長

あの公園内で撮影したのでしょうか。良い景色があるので、そこをバックにして撮影したいと。

高田松原津波復興祈念公園

花嫁が高田の出身の方で、着替える場所を探していたようです。

座長

このロケーションが良いとか、そのような理由であれば今後の展開もあるなど思ったのですけど。

A氏

そうやって宣伝してもらいたいというのがありますが、地元の方に利用していただけるようにもう少し頑張りたいと思いますね。草刈りの方では観光協会さんと仲良くやっているようなのですが、観光協会さんから会議室を使いたいというオファーはあまりないのでしょうか。

高田松原津波復興祈念公園

海開きの祭事のときに、雨が降った場合には会議室を使わせてほしいというのはありましたけれども、観光協会さんではなかったですね。

あとは先月、自主事業でクズという植物を使ってカゴ編み体験を行いました。去年も開催したのですが、今年も継続してやらせていただいて、その際、地元の新聞に募集を掲載していただいたら、定員の2倍の申込みがありまして、それで1回でおさまらなくて、2回やることになりました。隣の大船渡市の方もいらっしゃって、会議室の場所がわからないということで、道の駅に行った人もいましたし、あと電話がかかってきて案内をしたのですが、事務所を通過されてしまって、違うところにいましたという電話があり、迎えに行ったりとか、あとは目の前の市道ですね、事務所前の市道を毎日通っているのに、この建物が何だったのか初めて知ったっていう方も中にはいらっしゃいまして、中がこんなに立派なのかと驚かされていました。

A氏

宣伝ですね。会議室が認知されるよう工夫する余地があるかなということで、今後に期待します。

座長

それは施設管理というか、設備の方の問題なので、協議してもらえれば良いと思いますね。

そろそろ時間です。色々あるとは思いますが、今日、お話を聞いて、一生懸命本当に知恵を出して、努力して管理していただいているなと思って嬉しく思います。

あとは、枯れて困っていると言っていましたけれど、松ですよ。あの場所は高田松原と言われるぐらいの象徴の場所ですし、それと風ですよ、風が強い。何かイベントをしようと思ったり、サップ等ができるのではないかと思っても、あの風の強さではできないですよ。早く松原が再生することを願います。すぐ枯れて大変だということはわかりますけれど、何とか松原の再生は続けてほしいと思います。これは指定管理者だけの問題だけではないので、一緒に進めてもらえればなど。原風景の復活に向けて以後取り組んでもらえればと思います。

長谷川建設の皆様、どうもありがとうございました。本日の議論を参考に、今年度も引き続き高田松原津波復興祈念公園のより良い管理、運営に取り組まれますよう、よろしく願いします。

.....

エ 内丸緑地

○ 冒頭、指定管理者である特定非営利活動法人緑の相談室が資料により説明した。

座長

ただ今の説明に対しまして、御質問、御意見ございましたらよろしく願いいたします。

A氏

いつもここで和んでいます。ありがとうございます。

気になる点は、やはりクマで、こちら辺で出ていますね。公園の中に足跡とか糞があったのかどうかというのと、カメラを設置して、そういった場面を撮影したというようなことがあるのかどうか、それと資材ですね、肥料をどのように管理されているのかお聞きしたいと思います。

内丸緑地

いずれの公園でもやはりクマはですね、大変驚き、かなり恐怖も感じました。色々なことがあったわけですが、特にこの内丸緑地ではクマを見たとか通ったとか、そういうのは今のところは聞いておりません。

ただ、我々は隣の盛岡城跡公園も管理しているものですから、そちらでは利用者の方から見たという情報は寄せられております。一番最初が10月下旬で、巡視の方から、「近隣に警察官やパトカーが出ているよ。」ということ言われて、下の橋の辺りから公園にちょっとかすってクマが入ったらしく、その後、市役所の中津川沿いのあの茂みに午前中しばらくいたようです。それから、中津川の右岸の河川敷をずっと登って、愛宕山の辺りから山に入ったというのがございました。その後も2～3回あったわけですが、特に被害のようなものは発

生しておりません。

我々は普段早朝巡回をしています。巡回する方は、早朝の方が危ないので怖いということで、昨今は早朝巡回の時間を8時頃まで繰り下げて巡回しておりました。そろそろ落ち着いたというようなこともあって、そろそろ元の時間の巡回に戻すか考えたいと思っております。

それから、色々な資材、機材関係については、前は公園の南側の方に置いていましたが、令和7年5月から市の管理事務所をみどりの相談室で使っているということになりまして、色々な資材や機材を事務所のシャッター付きの倉庫で保管し、できるだけクマが好きそうなものは近隣には置かないということでやっております。

また、熊鈴等、音の出るようなものを持ち歩いております。クマスプレーは、注文したのですが、予約が殺到しているようで、すぐには来ません。

なんとか落ち着いたような感じがしますが、引き続き要注意でございます。

座長

中津川沿いなのでね。本当、盛岡の中心地を中津川が流れているので、もうクマの通り道になっているので、内丸緑地も。

内丸緑地

内丸緑地とは直接の関係はないのですが、ちょうど、盛岡城跡公園の旧お堀ですね。今の亀ヶ池、鶴ヶ池があるのですが、あそこに水が入ってくるのですよね。その取水口の場所が上の橋のすぐ下流の所にあるのですが、そこが詰まるものですから、2日に1度はそこに行ってゴミをとる作業をしましたが、あそこはクマの通り道なのです。

それで、一人では難しいということで、他の職員を連れてゴミ掃除をするのですが、すぐ詰まってしまいます。やはり川に入るのが、クマの時は大変でした。

座長

それに対応して、時間を変えて、遅らせてという、そのようなアイデアを出してやっていくしかないのでしょうか。ただ、今、昼間にもクマが出るようになってきているので、厄介ですが、できるだけそういう対応を考えて対策していくしかないのだろうと思います。

C氏

ボランティアの話ですが、花巻ですと、花巻駅、花巻空港駅、新花巻駅、花巻空港、花巻南インターのプランターは全部花巻農業学校の生徒達が作っています。

盛岡農業高校の生徒に協力してもらおうというのはどうでしょうか。

座長

地域との結びつきというような点で、学校と相談をしてみると、興味を持つ先生や校長先生がいたりしますよね。

内丸緑地

盛岡で、今まで結構、市の方でハンギングバスケット等色々なことをかなりやってきたのですよね。ただ最近、予算も厳しくなってきたこともあり、クラウドファンディングで盛岡を緑にするイベントのようなものを開催したのですが、造園業者さんが主体となり、その手伝いを盛岡農業高校さんをお願いしているという話を聞いたことがあります。

座長

内丸緑地のエリアですか。

内丸緑地

内丸緑地のエリアではないところです。サンビル前の栈橋がありますが、そこにプランターの花があったのですが、盛岡農業高校の生徒も参画すると聞きました。

座長

多分、Cさんのアイディアは、ボランティアの高齢化だとか、決して若くはない人達が作業しているということだと思います。

でも皆さん、すごく花を愛している方たちが本当に一生懸命やっているというのは見ていて思っていましたので、それはそれでとても大切だし、続けていってほしいなと思いました。

もし、負担になる部分が出てくるようであれば、確かにそういう連携も考えられるかもしれませんが。エリアを決めて、「盛岡農業高校の生徒さんが植えているところです。」とかね。そういうことも、指定管理者として役に立つのであれば、考えられるのかなと思います。

管理指定管理上は、そういったところと連携してやっていくということに問題はないですよ。県としては、一部を地域の学校と連携して花壇を作ってもらおうとか、植栽を見てもらうというようなことに問題はないですよ。

事務局

特に問題はないかなと思います。先日も職員がボランティアで高田の方へ行きましたし、ボランティアと連携をするということは良いのではないかと思います。

座長

鉢植えの花壇は、良いのではないかと思いますよね。

C氏

盛岡農業には複数の学科があるので、色々な分野で連携をしていくということも面白いかなと思います。

座長

なるほど。できる範囲を決めてですね。

内丸緑地は、木の管理は結構大変ですよ。高木になってきて、倒れるのではないかと。あと、ユリノキ等は落葉が大変ですよ。

内丸緑地

ユリノキは、県の方でご配慮いただきまして、3分の2ぐらいまで枝を伐採しました。以前は風が吹くと枝が落ちたり、幹が折れるのではないかなと思う日もありましたが、県の方で3年ぐらい前に伐採をしたので、管理する方も楽になりました。

それ以上に、ヒマラヤシダがなくなったのでホッとしています。とても大変でした。1年中落葉しますしね。みるみるうちに葉っぱが落ちて、片づけが大変でした。

座長

以前はよく「木を伐ったらダメだ。」という市民の方がいたりして、「何で伐るのですか。」と言われたのですが、公園の木というのは管理するためのエリアに植えているので、そうい

った正しい管理をしていく、伐って管理していく、きれいに整えていくことは大事なので、その辺は理解してもらった上で、伐るものは伐っていく、そういったことも必要だし、理解を進めるというのも大事なかなと思いますね。

そして、雪かきもするのですよね。本当にいつもこちらの管理は丁寧にさせていただいているなど思っておりました。クマの問題も出てきてはいますし大変なことも色々あると思いますが、これからもよろしくをお願いします。

.....

議事（2）その他

座長

各構成員の皆様から何かありましたらお願いします。

A氏

先ほど言いかけたことなのですが、やはり獣害対策というのは個別での対策には限界があると思うので、県に旗を振っていただいて、それぞれの指定管理者さんたちを集めて学識経験者を入れて情報交換をする。あとは本当に何かあったときの対策、対応とか、この辺の安全管理について話をする場があっても良いのかなと思います。まだ今年はまだあまりクマが出ていませんが、そのまま忘れ去られてしまうのは逆にもったいないので、こういう危機を生かして皆で知恵を絞っていくということ、情報を共有していくということが大事なかなと思いますので、ぜひ御検討いただければと思います。

座長

これは各公園共通していましたね。獣害対策、クマ、イノシシ、離れたところもありますけど、これは本当に、都市公園だけではなくて、県の色々な施設や場所で問題になっていると思います。

どのように対策をしていったらいいのかということについては、ぜひ県と話し合ったり、情報交換を行ったりして進めていただきたいなと思います。街中でも銃を撃てるようになったとはいえ、実際には反射が怖くてできないようなのですが。ただ、以前は街中で撃つことすらできなかったわけで、それが変わってきているということはあるので、特に山間部に近いところであれば、より撃つてもいいという方向に進めてもらえればなど、個人的には思いますが。クマが安心しきっていますもんね。人里に来ることを恐れていない。先ほど御所湖の話を書きましたけど、もうクマが街中を何回も歩いていると。夜、暗くなると歩くことができない。もうクマは人を恐れていない。熊鈴をぶら下げても、かえって人がいますよと言っていて、効果があるのかどうかわからないというような状況があるので、何らかの、より進んだ、一歩進んだ対策を考える必要があるなと思いました。

小岩井さん、クマと多く接していると思いますが、何かそういった専門家の意見を聞いたり、対策をしているようすが。

御所湖広域公園

町の農林課に、クマ、イノシシ等の害獣の対策チームがあるのですが、そちらと相談して罾を仕掛けてもらったり、アドバイスをいただいて対策をするようにしています。

あとは明日、県から紹介いただいたクマ、イノシシ対策、害獣対策の講習会に参加します

ので、管理運営に生かしたいと思っています。

座長

これは全く個人的な考えですけど、罾には限界があるような気がしますし、園内に罾を置くという行為自体に人への危険があるので、クマに恐怖心というか、人間に近づくと危ないと思わせるしかないのではないかと思うと、そういった方法を考えていくしかないのではないかな、と思ったりしています。なんとかクマ対策について考えていかないと、利活用の促進には繋がらないと感じています。

御所湖広域公園

罾を仕掛けているのはお客さんが通る場所ではなく、公園の柵の外の御所湖エリア、厳密に言えば国土交通省が管轄の河川エリアですから、「危ないですから近づかないでください。」というような表示をした上で資格者が罾を設置するというような、法律で決められたやり方でやっております。

100%安全とは言いきれないのですが、基本的には安全対策を講じてもらっています。

座長

罾にも、内丸であるとか、色々なところをどうするのだろうというのがありますね。

はい、ありがとうございます。その他にはないですね。なければ事務局の方で何かございますか。

事務局

先ほどからお話に出ておりますクマ対策、クマ被害対策については、まさに全県的な課題であるというふうに考えております。これは都市公園に限らず、公的施設皆が抱えている課題であると。なかなかそのクマの特性であるとか、そういった専門的知見も踏まえながら、県全体としてどう対応していくか、そういった方針を踏まえて対応について検討していきたいと考えております。

先ほどのお話にもありましたとおり、クマがいることが前提といたしますか、クマはできればなるべく人里に下りてきてほしくはないのですが、もはや当たり前にいることを前提にして、どうやって安全を確保していくかということが非常に重要なと考えております。

この辺につきましては、県土整備部だけではなく、関係する環境生活部とか、そういった関係機関、関係部署と協力して対応方針を考えていきたいと思っております。

座長

クマ対策の講習会、安全講習会を実施しているところもありますが、クマスプレーの使い方については、練習したほうが良いです。風向き等についてしっかり考えた上でやらないと、自分がとてもつらい目にあいます。私も試して使ってみたことがあるのですが、ドアの隙間から手を出してスプレーを少し噴射しただけで、目がとても痛くなりました。外で安易にクマがいると思ってスプレーを噴射したら、クマより自分の方が大変な目にあってしまうかもしれないので、使い方の講習会とかね、スプレーを使うときにどのようなことに気をつければいいのか学ぶことができる講習会のようなことも考えられるのかなと思いました。

それでは、以上で議事は終了とします。構成員の皆様、円滑な議事の進行への御協力ありがとうございました。進行を事務局にお返しします。

.....

4 閉会

令和7年度の会議開催予定の事務連絡をした上で、事務局から閉会宣言。